

名張市立北中学校 コミュニティ・スクール

令和4年度

第3回 『学校運営協議会』



- 【日時】 令和5年2月10日（金）
【場所】 名張市立北中学校 図書室
【参加者】
- | | | |
|-----|--------------------|-------------------|
| 会長 | 北斗会 顧問 | |
| 副会長 | 薦原地域づくり委員会会長 | 北斗会会長 |
| 委員 | 美旗まちづくり協議会会長 | すずらん台町づくり協議会副会長 |
| | CSコーディネーター | 北中学校PTA会長 北斗会幹事 |
| | 北中学校同窓会顧問 | 北中学校元PTA会長 元学校評議員 |
| | 名張市教育センター主任教育専門相談員 | 北中学校長 |
- 名張市教育委員会 教育総務室
学校ボランティア室 コーディネーター
事務局 教頭 CS担当（北中教諭）

【内容】

- あいさつ
運営協議会会長より
学校長より
- 報告事項
 - ・名張市小中音楽会について
 - ・名張市総合防災訓練に関する事
 - ・生徒会地域清掃活動に関する事
- 議事内容
 - (1) 学校長より
 - ・生徒の様子について
 - ・学校評価について
 - ・その他
 - (2) 各部会より（今年度の総括と来年度に向けて）
 - 学校運営部会
 - ・学校評価書について
 - 学校支援部会
 - ・本年度の成果と課題、来年度の活動について
 - ・環境整備とボランティア登録について
 - 地域連携部会
 - ・11月19日（土）名張市防災訓練について
避難所開設訓練の反省と意見等の報告、生徒との懇談会について
- 連絡事項 その他
 - ・卒業証書授与式について
 - ・北斗会からの支援による2年生「和楽器体験学習」について
 - ・校区再編による来年度の学校運営協議会委員の構成について
 - ・その他



学校運営協議会委員評価

【評価全般】

○重点取組1 「わかる授業づくりと学習意欲の向上」について

- ・生徒同士の「つながり」を「しかけること」をテーマに授業研究、実践を校区あげて取り組んできたということですが、学校生活のほとんどが授業でありコロナ禍が続く中、つながりが希薄になることによる影響が子ども達の生活に表れてきています。タブレットの活用、「協働的な学び」の実現に向け取組を継続してほしい。
- ・「ノーメディアディ」の取組を中学校区で必要性を協議し、課題を共有しながら取組を進めたことは素晴らしいことです。スマホ依存、自学自習、読書習慣など子ども達の取り巻く環境の変化にどのように対応し働きかけていくことが大切であり、その後の検証、継続した取組をお願いします。
- ・運営協議会、OB教員の協力を得ての補充学習の取組が広がりました。新たにコミュニティ・スクールの事業として展開されたことが素晴らしいと思います。このことを教職員、保護者とも意義を共有し、教職員から特に必要とする生徒へのはたらきかけ等、さらに一体となる取組に発展させていきたい。

○重点取組2 「豊かな人間関係と居場所づくり」について

- ・生徒相互が認め合い教師がほめる、励ます、認める等の取組により、全体的に落ち着いた学校生活を送れていることが素晴らしいです。
- ・学級満足度調査においては、満足群が減少しており、生徒会目標の一つである「いじめのない学校」について、「そう思う（ややそう思う）」を含めずが45.3.%になっていることは、これからの学校づくりを進めていくうえで大切な材料だと考えます。これらの結果を、教職員も生徒自身も共有し、生徒が主体的に取り組んでいく足掛かりとされたい。学校運営協議会としても、どんなサポートをしていけばよいか検討していきたい。

○重点取組3 「生き方を学ぶ教育活動の充実」について

- ・地域と学校が一体となって子どもを育て、地域を育てる場として防災の取組は大切な切り口であり、コロナ禍にもかかわらず、実施できたことは大きな一歩を踏み出すことができたと思います。またZoomにより各教室でその様子を見て、災害時に地域の一員としてできることを考えたことは、現在の気候変動等から起こる風水害や南海トラフを震源とする巨大地震がいつ起こってもおかしくない状況にあるなかでの取組として、防災による生き方を学ぶ教育として評価できると思います。継続した取組となることを願います。
- ・小学6年生が中学1年生の合唱を鑑賞する場や出前授業などの計画が、コロナ禍で進めることができなかったが、「あいさつ運動」や「いじめ撲滅動画配信」など精力的に取り組んできたことがすばらしいと思います。
- ・北中校区小中一貫ランドデザインを更新し、年間3回の研修会を実施したということですが、このことが定着し、さらに学校の力が高まることを期待します。

【来年度の方向性について】

○学校支援部会

- ・夏季休業中に学習支援の場を設定し、宿題支援、2学期への不安解消に向けての支援を継続していきたい。
- ・本年度、和楽器体験（音楽科）の場として、天正乱太鼓を披露していただいたが、ほかにも学習支援もふくめ、「ボランティア登録制度」をつくっていきたい。
- ・北側フェンスの改修を学校、PTA、教育委員会と連携しながら検討し、進めていきたい。

○地域連携部会

- ・名張市総合防災訓練の日に合わせ、北中学校避難所開設訓練を行う。生徒の主体的な参加を促すため、生徒との懇談の場を持ち、意見交換しながら進めていきたい。

【その他】

- ・校区小学校の学校運営協議会との連携が大切である。本年度、北中校区の校長と学校運営協議会会長が集い、中学校区のコミュニティ・スクールについて共通理解を図る機会を持つことができたが、来年度も実施したい。
- ・北中学校の制服は、令和5年度より男女の区別のない完全ブレザー化される。については、なぜ他の中学校より先んじて取組を進めたのか教職員間で共有し、その意味を念頭に置き、学校づくりの礎として取組を進められたい。また市内中学校では、まだ取組が進んでいないようである。名張市教育委員会には、各中学校が男女の区別のない制服の導入に向け、検討を進めていくよう指導いただきたい。
- ・北中校区の生徒数が、校区再編により減少していくが、このことを受け入れ、少人数であるからこそできることを考え、北中学校の良さにつながるよう、学校運営協議会も尽力していきたい。